

三一―一番

すべもなき 片恋かたこひをすと このころに 我あが死しぬ
べきは 夢いめに見みえきや

三一―二番

夢いめに見みて 衣ころもを取り着き 装よそふ間まに 妹いもが使つかひそ
先立さきだちにける

三一―三番

ありありて 後のちも逢あはむと 言ことのみを 堅かたく言いひ
つつ 逢あふとはなしに

三一―四番

極きはまりて 我われも逢あはむと 思おもへども 人ひとの言ことこそ
繁しげき君きみにあれ